

2021 CSR

Corporate Social Responsibility Report

報告書



三ツ星ベルト株式会社
MITSUBOSHI BELTING LTD.

人を想い、 地球を想う

それは、三ツ星ベルトが
未来に託す願いです

目次

トップメッセージ	3	5. 働き方改革と人材育成活動	24
1. 環境への取り組み	8	6. コーポレート・ガバナンス	26
2. 品質への取り組み	14	7. 内部統制体制	26
3. 社会貢献活動	16	8. 企業プロフィール	27
4. 安全衛生への取り組み	22		

編集方針 三ツ星ベルトグループは、経営方針やCSRIに対する考え方・推進体制・活動内容をわかりやすく開示し、ステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）の方々とのコミュニケーションを図ることを目的に、毎年「CSR報告書」を発行しています。

対象期間 2020年10月1日～2021年9月30日を中心に、一部期間外の情報を含みます。

三ツ星ベルトは先進の発想と技術で 人と地球の豊かな未来を創ります。

三ツ星ベルトは、工業用ベルトの専門メーカーとして1919年神戸で創業し、たゆまぬ研究と開発を重ねて、業界のリーディングカンパニーへと成長しました。防水・遮水材、エンジニアリングプラスチック、電子材料の製造などに業容を拡大した今も「品質を作り、品質を売る」という創業の精神は連綿として受け継がれ、お取引先様より厚い信頼をいただいています。

また、人々の生活と産業の発展を支えるための「モノづくり」と、地域に根差した企業として「住民と企業との共生によるまちづくり」を目指し、年間を通じて地域の皆さまとの「ふれあいイベント」を開催しながら、さまざまな社会貢献活動を進めてきました。しかし、産業が大きく発展した一方で、豊かな生活を手に入れたと思われる私たちの暮らしや身近な自然には、環境破壊の波が押し寄せています。社会的な課題に対する不安や危機感を抱く今だからこそ、「人と地球の在り方」を真剣に考えなければならないと痛感しています。大切な未来のために、三ツ星ベルトは基本理念である「人を想い、地球を想う」という視点から、「技術の方向性」「製品の役割」を見つめ直し、先進の発想と「高機能・高精密・高品質」な製品を提供する高度な技術力の追求と、CSR・SDGsへの取り組みを積極的に推進し、社会全体に貢献してまいります。



代表取締役会長



代表取締役社長
兼社長執行役員

垣内 一

池田 浩

確かな技術力が実現する高機能・高精密・高品質

環境問題への全社的取り組みで
実現した「ISO14001」認証取得



「ISO9001」「IATF16949」は
世界的な品質基準。三ツ星ベルトは
数々の認証を取得しています。

三ツ星ベルトグループは、各種製品で世界トップレベルの品質システム向上のため、ISO9001、IATF16949の認証取得を推進しています。

また、世界的に環境保全の充実が求められるなか「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、ISO14001の認証をも取得しています。

持続可能な企業づくりをめざして

当社グループは「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、持続可能な社会の実現に貢献するため、2020年度にSDGsの具体的な取り組み目標を設定し、事業活動を通じて社会に貢献できる企業づくりを推進しております。また、経営基本方針である「高機能・高精密・高品質」な製品を提供する技術力の追求と、技術領域の拡大により、社会のニーズに柔軟かつ迅速に対応することでSDGsの目標達成に貢献したいと考えています。

環境問題として取り組むべき気候変動への対応についてもCO₂排出量の具体的な削減目標値を定め、さまざまな社会的課題の解決に向けた積極的な活動の展開を目指します。

また、社会の人々の人権を尊重し、従業員一人ひとりが多様で柔軟な働き方が実現できるよう「働き方改革」への取り組みを活性化する一方で、従業員の安全と健康が確保できる職場環境づくりを進めてまいります。



代表取締役社長
池田 浩

‘21中期経営計画における具体的取り組み

事業活動を通じて社会に貢献できる企業づくりを推進

● 技術力を基盤とした企業としての成長

昨今の社会経済情勢は不安定な状況が続いており、加えて自動車業界などの産業構造も新たな局面を迎えています。人々の生活様式や企業を取り巻く経営環境も大きく、そして急激に変化しています。社会全体が求めるニーズの多様化に対応しながら、当社自身も企業として成長を続けていかなければなりません。そのためには、当社が100年以上の歴史の中で培ってきた持続的な製品の研究、技術開発をさらに加速させながら既存の工法や技術にとらわれることなく、革新的な製品の開発にも挑戦することで、飛躍的な技術力の向上につなげたいと考えています。また、環境にも配慮した製品の拡充、生産方式の確立に長期的な視野で取り組み、社会的な責任を果たしてまいります。

● 安全・安心な職場環境づくり

新型コロナウイルスが社会に与える影響は長期化しており、収束時期もいまだ不透明な状況にあります。このような環境のもと、当社グループは、従業員とその家族、および関係者の皆さまの安全と健康を最優先し、事業へのリスクを最小限にとどめながら、事業継続を推進させる必要があります。感染拡大防止に努めるとともに、リモートワークの促進や新しい働き方を実行し、地域社会との連携を進めながら、ウイルスとの共存を前提とした事業活動にも対応するため、組織や職場のあり方を見直してまいります。

CO₂排出量の削減目標値

2013年度比 ・2023年度20%以上 ・2030年度35%
 ・2050年度カーボンニュートラル

当社グループの'21中期経営計画に基づき、事業継続の長期的視野に立って、国内外各事業所の建物・設備等の整備を順次進めております。

2021年8月に、R&Dを含めた計画的な設備の更新・増強を目的として、神戸事業所中央工場に第4棟が竣工いたしました。同建屋と既存の第3棟屋上に太陽光発電システムを設置し、地球に優しい自然エネルギーの導入によるCO₂排出量の削減に努め、SDGsの取り組みを推進いたします。



SDGsへの取り組み

2021年度に入り、SDGsの考え方を社内で浸透させるため、国内外の三ツ星ベルトグループ全従業員を対象として、当社SDGs推進委員による社内啓発講座を実施し、加えて外部講師による勉強会も開催しています。一人ひとりがSDGsに対する理解を深め、各部門において個別の目標を設定することで、事業活動を通じた積極的な活動を展開できる素地を整えました。

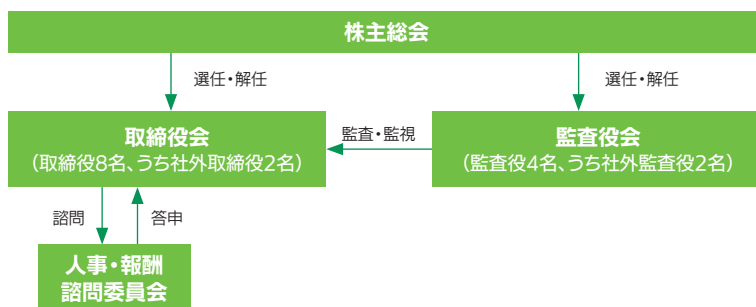
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



コーポレート・ガバナンスの強化

2021年に経営陣の選任・解任・報酬等に関する取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化する目的で、取締役会に対する諮問機関として「人事・報酬諮問委員会」を設置する等、コーポレート・ガバナンスの強化、充実を図ってまいります。

また、当社の中期経営計画等の実現に向けた取り組みの推進と、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、企業価値向上を目的として「譲渡制限付株式報酬制度」を導入しました。



経営方針

当社は、次世代の産業分野のニーズに対応できる製品づくりの観点から「高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」ことを「経営基本方針」とし、また、社員一人一人が「今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する」を社訓とします。さらに、人にも地球にも優しい「人を想い、地球を想う」を「基本理念」と定め、当社グループ全体が社会の発展とともに共存共栄していくことを指針とします。

社 訓 : 今日に誇りを持ち、明日に希望を託し行動する

基本理念 : 人を想い、地球を想う

経営基本方針 : 高機能、高精度、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する

経営戦略

- 世界に通用する財務体質づくりを目指すため、当社グループ全体の資産効率の向上を図り、今後もより一層の体質強化を図ります。
- 世界的な技術競争に対応するために、研究開発体制、技術力の強化を図り、基礎技術の蓄積と活用能力を高めた製品開発のスピード化を推進いたします。
- 次世代を見定め、よりユーザーニーズに対応した高機能、高精度、高品質な製品を生産する製造ラインの実現に向け、生産システム並びに研究開発の機能充実を図り、独自の優位性を持った新しい考え方を採り入れた生産システムの確立に取り組みます。
- 世界的なコスト競争に対応するために、世界最適生産体制の確立とコスト競争力のある体質づくりを目指して取り組みます。
- 生産、販売及び物流体制の強化を図るため、立地の優位性、効率性を重視し、国内外を問わず拠点の再整備を行い、引き続き一層の充実を図ります。
- 人材の確保と育成を図るため、新卒社員の採用並びに専門的知識と経験の豊富な人材の適年採用を積極的に進めるとともに従業員一人ひとりが多様で柔軟な働き方が実現できるよう働き方改革に取り組みます。
- SDGsに取り組み、環境との調和を目指した製品技術・生産技術などの開発により技術領域を広げていくとともに、地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、持続可能な社会の実現に貢献できる企業づくりを推進いたします。

三ツ星ベルトグループ行動基準

- 国内外の法令や社会通念を守り良識に沿った行動をします。
- お客様に信頼される製品を造ります。
- クレームには誠意を持って直ちに対応します。
- 商道徳と自由競争を尊重した公正な取引をします。
- 企業人であると共に社会の一員として行動します。
- 地域および地球環境の保全に努めます。
- 情報を適切に開示するオープンな企業であるよう努めます。
- 人格と人権を大切にします。



CSRを推進するために

■ CSR基本方針とSDGsへの取り組み

三ツ星ベルトグループのCSR活動は、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、先進の発想と「高機能・高精度・高品質」を提供する高度な技術力の追求によって当社グループを取り巻くステークホルダー（株主・顧客・従業員・地域社会等）との共生を図り、継続して人と社会に貢献することで、快適で豊かな未来を目指してまいります。

・社会への貢献

優れた技術に基づいた安全で信頼性の高い製品を提供することで、関係する取引先と連携し社会から必要とされる製品の一端を担うことにより、世界の「ものづくり」に貢献します。



・地域社会との連携と協調

広く社会とのコミュニケーションを大切にし、事業活動を果たしながら、地域社会との連携と協調を図り、共生することで社会に貢献します。



・地球環境への貢献

環境への負荷が少ない製品づくりやグループで環境保全を推進することで、地球環境との共存を常に意識した企業づくりを目指します。



・人権の尊重

社会の人々と従業員の人権を尊重し、従業員一人ひとりが働きやすく、活躍でき、働きがいのある職場を提供できる企業を目指します。

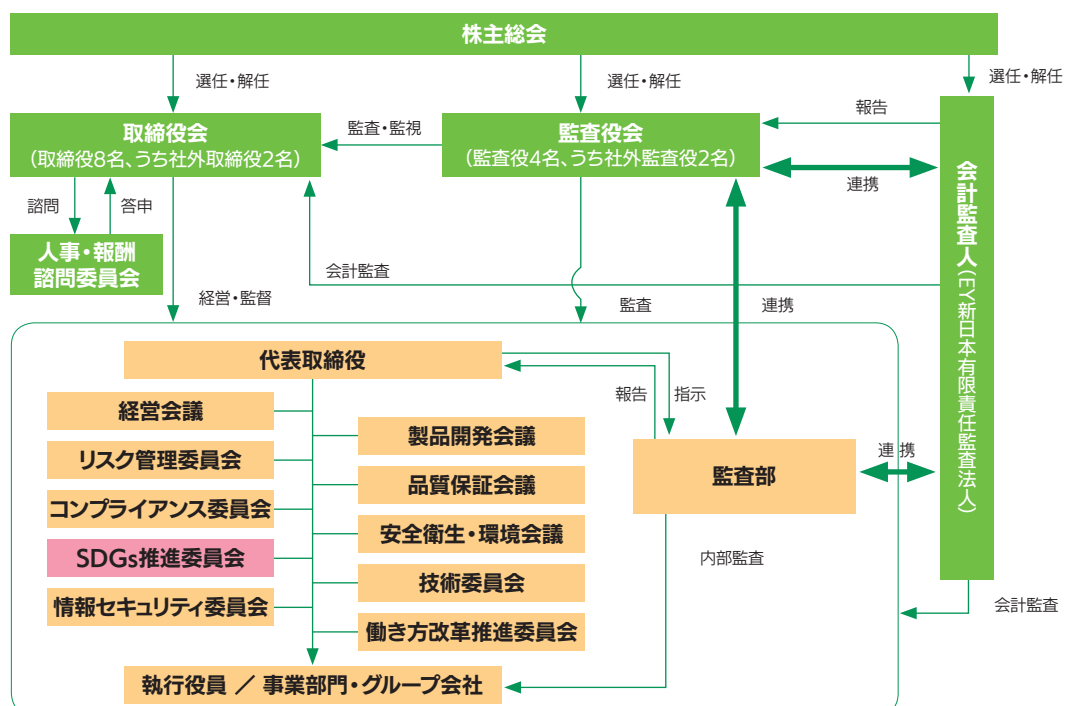


・経営統治の継続的強化

法令の遵守、適法な事業活動を継続し、当社グループもステークホルダーも共に成長できる企業を目指します。



■ SDGs推進組織の位置づけ



社長が指名する担当役員を委員長とする「SDGs推進委員会」を設置し、具体的な活動計画を策定し推進してまいります。

1. 環境への取り組み

◆ 環境基本方針

三ツ星ベルトグループは、全ての事業活動において、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもとに、持続可能な社会の実現を目指し、地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進します。

1. 環境管理システムの維持
有効に機能する環境管理システムを維持し、全ての事業活動で展開する環境保全活動をこのシステムで管理します。
2. コンプライアンス義務の履行
環境に関する法規制、ステークホルダーとの合意事項、社内規程・要領等を順守します。
3. ステークホルダーとの協力
省資源・省エネルギー、環境負荷物質削減等、様々な環境保全活動において、それぞれの課題に設定される環境目標の達成をより確実なものとするために、ステークホルダーとの協力を積極的に進めます。また、地域社会との共生を目指した諸活動にも積極的に取り組みます。
4. 技術力の活用
ものづくりの会社として培ったノウハウ、技術等を、“製品ライフサイクル”の視点に立ち、環境保全活動に展開します。
5. 継続的改善の実施
全ての事業活動において、環境影響を特定、監視し、継続的に改善を行い、環境目標を確実に達成します。

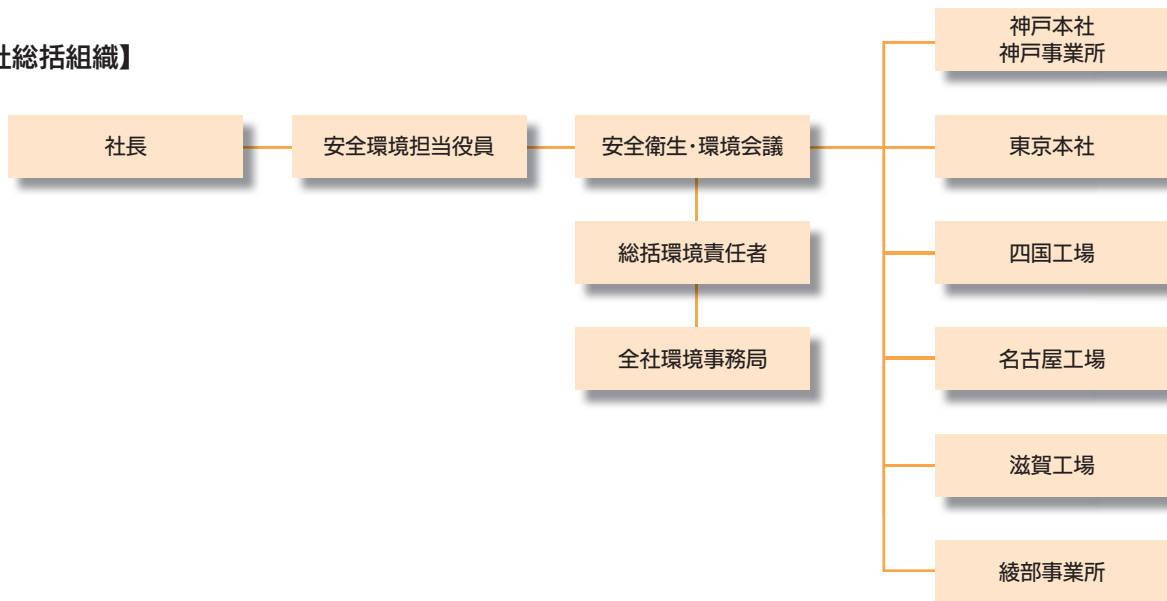
環境管理システムを通じて三ツ星ベルトグループの全従業員に、この環境基本方針を周知します。また、全てのステークホルダーが容易に入手できる形で社外に開示します。

2021年10月1日改定

◆ 環境推進組織

年2回、安全衛生・環境会議を開催し、環境に対する課題に取り組んでいます。また各事業場では毎月環境委員会を開催し、地区ごとの環境状況の確認を行っています。

【全社総括組織】



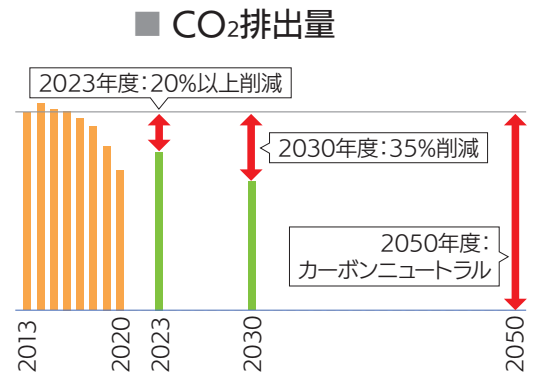
◆ 三ツ星ベルトのリスクと機会及び施策

リスク要因	リスクと機会	施策（取組み、活動）
顧客要求、法規制の強化	法令違反、顧客要求違反による企業価値低下 早期対応による企業価値向上	法規制順守（ISO認証維持、内部監査、環境法規制教育、サプライヤーとの連携）
脱炭素社会、気候変動への対応	対応遅れによる企業価値低下、対応コスト増加 早期対応による企業価値向上	CO ₂ 排出量削減 エネルギー使用効率の改善
資源循環型社会への対応	対応遅れによる企業価値低下、対応コスト増加 早期対応による企業価値向上	省資源化 廃棄物の削減、リサイクルの促進
環境負荷物質規制の強化	法令違反、顧客要求違反による企業価値低下 早期対応による企業価値向上	環境負荷物質使用量、排出量の削減、グリーン調達
生物多様性の保全への対応	対応遅れによる企業価値低下、対応コスト増加 早期対応による企業価値向上	生物多様性の保全
環境配慮型製品の広がり	対応遅れによる受注機会低下、対応コスト増加 早期対応による受注機会向上	環境配慮型製品の開発

◆ 2050年に向けた中長期目標を策定

CO₂排出量の削減目標値（2013年度比）

- ・2023年度20%以上
- ・2030年度35%
- ・2050年度カーボンニュートラル



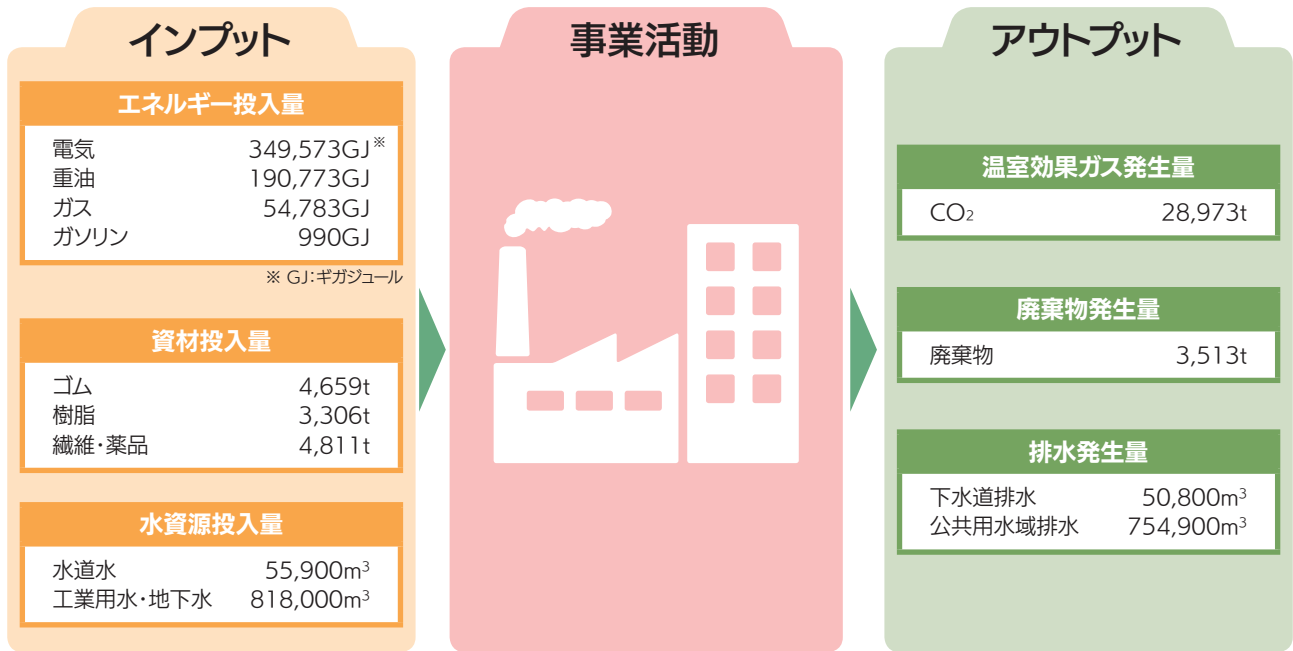
◆ ISO14001認証取得状況

当社グループは、1999年9月以降、国内外の拠点でISO14001の認証を取得し環境保全活動を促進しています。
新たに三ツ星ベルト工機㈱が認証を取得しました。

三ツ星ベルト㈱（神戸本社・事業所、名古屋工場、四国工場） 三ツ星ベルト技研㈱ 三ツ星ベルト樹脂㈱ 三ツ星ベルトコンベヤ㈱ ネオ・ルーフィング㈱ 三ツ星ベルト工機㈱	一般産業用ベルト、自動車用ベルト、タイミングプーリ、Vリッドプーリ、搬送ベルトおよび関連製品、エンジニアリングプラスチック、発泡射出成形品、防水シート、金属ペースト、回路基板材料および塗料
MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
MBL (USA) CORPORATION	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
PT. SEIWA INDONESIA	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA	一般産業用ベルト、カップリングゴム弾性体
STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
蘇州三之星機帶科技有限公司	一般産業用ベルト、自動車用ベルト
MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	一般産業用ベルト、自動車用ベルト

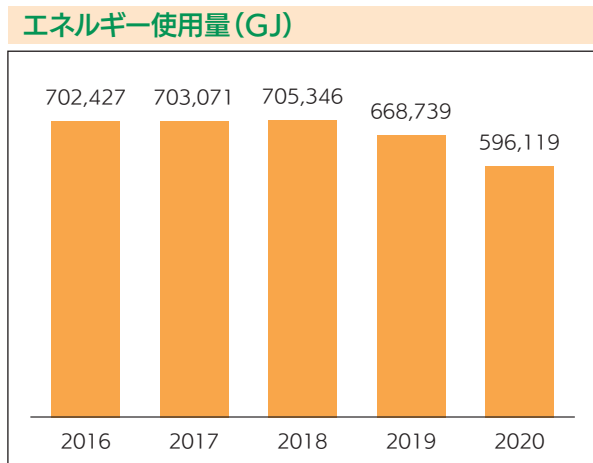
◆ マテリアルバランス

*事業活動で利用した資源およびエネルギーの投入量（インプット）とその活動に伴って発生した環境負荷物質（アウトプット）を表しています。（2020年度、国内8拠点実績）

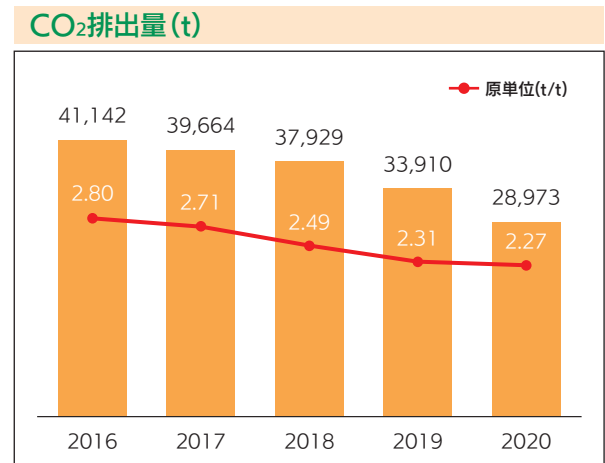


◆ 脱炭素社会の構築

SDGsの目標の一つである「気候変動に具体的な対策を」に対し、エネルギー使用量の削減、CO₂排出量の削減に取り組んできました。CO₂排出量の削減について、中長期目標を定め、社会的責任を果たしてまいります。



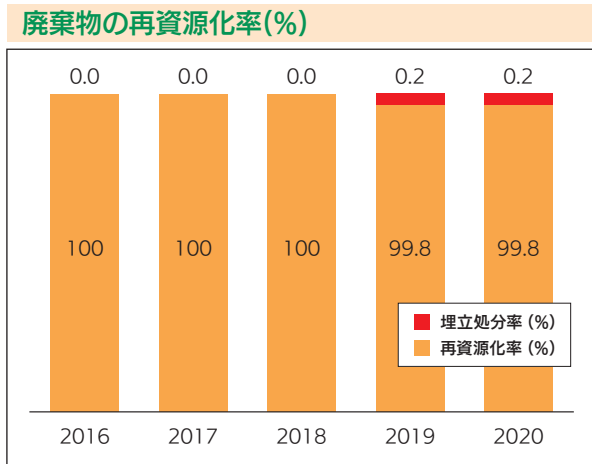
全社として、LED化等、計画的な設備の更新、生産効率向上に取り組んでいます。毎年目標を設定しエネルギー使用量、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。



省エネ設備の導入、エネルギー転換を進め、CO₂排出削減に努めています。再生可能エネルギーの導入拡大を検討しています。

◆ 資源循環型社会の構築

製品やサービスに必要な原料の採取から、製品が使用され、廃棄されるまでライフサイクルの視点に立ち、資源の有効利用に取り組んでいます。

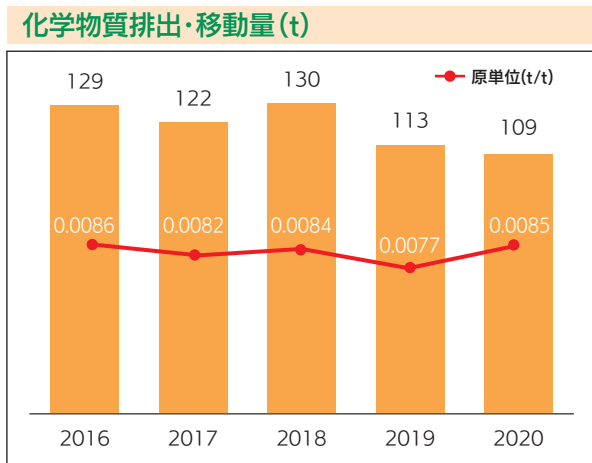


資源の有効利用のため、廃棄物の再資源化(リサイクル)に取り組んでいます。廃棄物の再資源化率は高水準を維持し、**ゼロエミッション(*)**を達成しています。

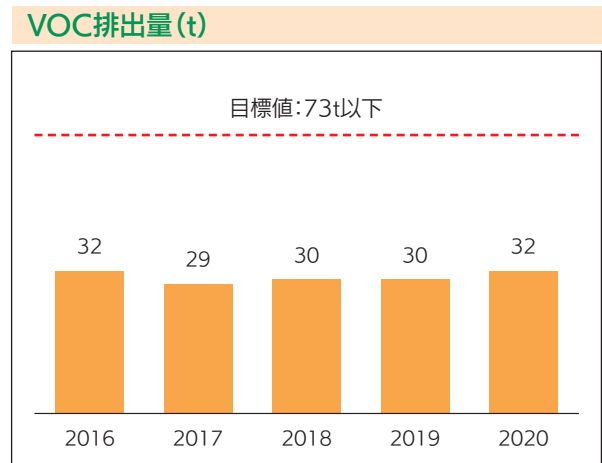
*ゼロエミッションの定義: 廃棄物総量に占める埋立処分量の割合が1.0%未満

◆ 環境負荷物質管理

使用する化学物質、製品に含まれる化学物質の管理を適切に行い、環境負荷の低減に取り組んでいます。サプライヤー様とも連携し、グリーン調達を推進しています。



化学物質を「含有禁止物質」、「制限物質」、「管理物質」、「監視物質」に区分して管理し、PRTR対象となる物質について、排出量・移動量の把握と削減に努めています。



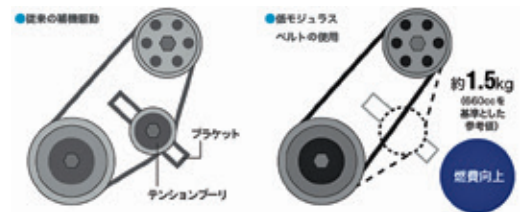
揮発性有機溶剤 (VOC) は塗装工程、接着工程で使用しています。塗料、接着剤の水性化、接着剤の溶剤削減などにより日本ゴム工業会の目標 (2000年度実績比50%削減) を達成、維持しています。

◆ 環境配慮型製品の開発

当社グループは環境配慮型製品の提供を通して、地球環境保全に取り組んでいます。

自動車用低モジュラスベルト Star Fit®

自動車用低モジュラスベルト「Star Fit®」を採用することで張力調整が不要となり、テンションプーリ&ブラケットレス化によって約1.5kgの軽量化を実現。燃費向上に貢献します。



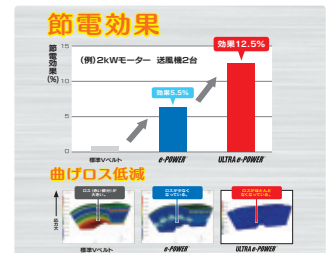
自動車用補機駆動用ベルト 低フリクションロスベルト

低燃費化に向けた競争が激化する日本の自動車業界。そのニーズに応えるべく、開発に成功したのが、補機駆動システム用の低フリクションロスベルトです。ベルトリブ部の内部発熱を抑えることで、ベルトの曲がりや変形によるフリクション（摩擦）ロスを低減し、ベルトの伝達効率を高めることに成功しました。約3万点と言われる自動車部品の中の補機用ベルト単体で低燃費化を実現し、さらに耐発音性や耐摩耗性といった機能も両立させた画期的な製品として、自動車メーカーへの採用が広がっています。



省エネルギー用ベルト e-POWER®

e-POWER®シリーズは、形状を特殊（ノッチ・コグ・ダブルコグ）とすることによって、動力損失の最大要因である曲げ応力を軽減した、省エネ効果を高めた環境にやさしいベルトです。専用プーリが不要なため、ベルトのみの交換でよく、工場、病院、商業・オフィスビルの設備や、産業機械等で節電効果を上げております。



自動車向け発電機（オルタネータ）用プーリ Smastar®

自動車エンジンはアイドルストップ、小排気量化、直噴化等の燃費向上技術により、エンジンの回転変動が増加傾向にあり、補機ベルトシステムは過酷な使用環境となっています。ベルトの張力変動を吸収するプーリとして開発したオルタダンパプーリSmastar®は、張力設定を下げることで、ベルトからの発音の抑制、ベルト寿命の向上、さらに燃費向上に貢献します。



コンベヤベルト専用の管理システム「Tailor-note®」

Tailor-note®（テイラーノート®）は、当社の独自技術でベルトにQRコードを印字し、それを専用端末で読み取る事でベルト取付履歴や点検履歴を管理する事に目的に開発したシステムです。

「いつ、だれが、どのコンベヤにどの種類のベルトを取り付けたか?」、「洗浄は適正に行ったか?破損は無い?」などベルトに関する日々の管理が確実・容易にできます。

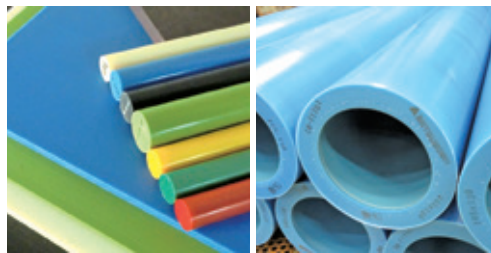
稼働中のコンベヤベルトの破損はラインの停止を招き、特に食品工場では異物の混入や仕掛品の大量廃棄につながる恐れがあります。

Tailor-note®を用いたベルト操業一元管理により、工場全体の省力化に貢献します。



切削用樹脂素材 キャストナイロンシリーズ

キャストナイロンは主原料のナイロンモノマーを金型内で重合・成型することでナイロンの特性を向上させており、また残留ひずみが少なく寸法安定性にすぐれます。ギア・搬送ローラなどの工業部品に多く使用されるキャストナイロンシリーズは、剛性に優れているため、金属からキャストナイロンへ置き換えることで部品の軽量化につながり、省エネに貢献します。



風力発電機用フリースパン®ベルト

地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーとして認識が高まっている風力発電機用ブレードのピッチ調整に使用されています。



不織布付きEPDMゴムシート ファストバック防水工法

耐久性に優れたEPDM加硫ゴムシート ネオ・ルーフィングEの裏面に、不織布を貼り合わせた「ファストバックシート®」を用いた屋上防水工法です。下地接着力および接合部強度が向上し、平場の施工については溶剤を使用しない「TXフリー」を可能にしたことが特長です。



シート敷設工程



敷設後・塗装前

露出断熱防水工法 ネオハードフォーム防水工法

建物の省エネルギー基準の強化により、屋上防水材に対する断熱性能の要求が高まっています。ネオハードフォーム防水工法は、断熱性能に優れた硬質ウレタンフォームと糊付加硫ゴムシートを組み合わせた高性能の露出断熱シート防水工法です。接着工法のため機械的固定工法に比べて、騒音や振動の発生がありません。高日射反射塗料との組み合わせにより、高い省エネ機能を発揮し空調費用を低減します。



鏡面加飾用銀ナノ粒子ペースト顔料

銀ナノ粒子を活用した新たな用途として、メタリック調塗料・インキの鏡面加飾用ペースト顔料を開発しました。銀ナノ粒子は、新規の製造方法を採用することで、従来の製造方法と比較して、製造時の揮発性有機化合物 (VOC) 排出量を大幅に低減することに成功しています。また、塗装や各種印刷法における鏡面加飾用顔料として最適なことから、環境負荷が懸念されるメッキや蒸着工法からの代替が可能であり、お客様側の環境負荷低減にも貢献できる環境配慮型製品となっております。



銀ナノ粒子分散液



鏡面加飾例.1

『基材：ガラス容器／手法：スプレー塗装』



鏡面加飾例.2

『基材：樹脂プレート／手法：スクリーン印刷』

2. 品質への取り組み

◆ 品質基本方針

三ツ星ベルトグループでは、「経営基本方針」を「品質基本方針」と定め、その「行動基準」に基づき、顧客に提供する製品・サービスの質向上を図るための品質保証体制を整備し、活動しています。

品質基本方針

「高機能、高精密、高品質な製品の提供を通して社会に貢献する」

行動基準

- ① 顧客の満足を得る製品を開発する。
- ② 全社的品質管理(TQM: Total Quality Management)を充実・レベルアップし、国内外業界のトップレベルの品質を確保する。
- ③ 決めた標準を守って仕事を行う。

◆ 品質マネジメントシステム取得による品質保証への対応

品質マネジメントシステムについては、自動車用関連部品で世界トップレベルの品質システム向上を図るため、国内外の工場で、自動車業界の国際品質規格IATF16949の認証を取得するとともに、各種製品でISO9001の認証を取得し、品質保証体制の強化を図っています。

IATF16949・ISO9001・JIS A 6008 認証取得

規格種類	対 象	
IATF16949	産業資材事業部門(四国工場)	自動車用ベルト
	三ツ星ベルト技研(株)	自動車用ベルト
	MBL (USA) CORPORATION	自動車用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	自動車用ベルト
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	自動車用ベルト
	PT. SEIWA INDONESIA	自動車用ベルト
	蘇州三之星機帯科技有限公司	自動車用ベルト
	MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED	自動車用ベルト
ISO9001	産業資材事業部門(神戸本社、東京本社、名古屋工場、四国工場) 三ツ星ベルト技研(株) 三ツ星ベルト工機(株)	一般産業用ベルト、ウォームホイールブランク、エンジニアリングプラスチック、Vリブプーリ、ベルトテンショナー
	建設資材事業部(神戸本社、東京本社、名古屋工場)	建築用防水シート、土木用遮水シート
	製品開発部	金属ペースト、回路基板材料および塗料
	三ツ星ベルト工機(株)	タイミングプーリ
	三ツ星ベルトコンベヤ(株)	搬送用樹脂ベルト
	MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED	一般産業用ベルト
	PT. MITSUBOSHI BELTING INDONESIA	一般産業用ベルト、カップリングゴム弾性体
	PT. SEIWA INDONESIA	一般産業用ベルト
	STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED	一般産業用ベルト
蘇州三之星機帯科技有限公司	一般産業用ベルト	
JIS A 6008	建設資材事業部(名古屋工場)	合成高分子ルーフィングシート

◆ 従業員の品質意識向上 –QC(品質管理)サークル活動–

三ツ星ベルトグループでは、「品質基本方針」に基づき、全社品質管理(TQM: Total Quality Management)を推進しています。その一環として、1967年からQC(品質管理)サークル活動に取り組んでいますが、近年は国内工場に留まらず、海外にも広がり、グローバルな人材育成・改善活動の場として定着しています。2020年からは新型コロナウイルス感染予防の観点より実施できていませんが、毎年秋には「三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会」を開催し、現場における製品の品質管理や作業効率の改善などの事例を発表し合い、相互研鑽を図っています。また、一般財団法人 日本科学技術連盟主催のQCサークル全国大会に選抜サークルが発表するなど、社外のQCサークル発表会にも積極的に参加し、レベル向上を図っています。



2019年度三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会(インドネシア)



三ツ星ベルトグループの各拠点から選抜されたサークルが、2019年度はインドネシアに集結し、三ツ星ベルトグローバルQCサークル大会が行われました。参加者は一同、同じ衣装をまとって大会に参加し、一体感のある大会となりました。また、各拠点の活動内容を共有するなどの交流が生まれ、有意義な場となりました。



2021年度QCサークル全社大会(神戸)



国内では年に2回QCサークル全社大会を開催しております。

2021年度は、各拠点の参加者は初のオンライン形式を試みるなど、新型コロナウイルス感染予防対策を十分行い開催しました。

オンラインの発表会とすることにより、各拠点で様々な人が聴講できる良い機会となりました。

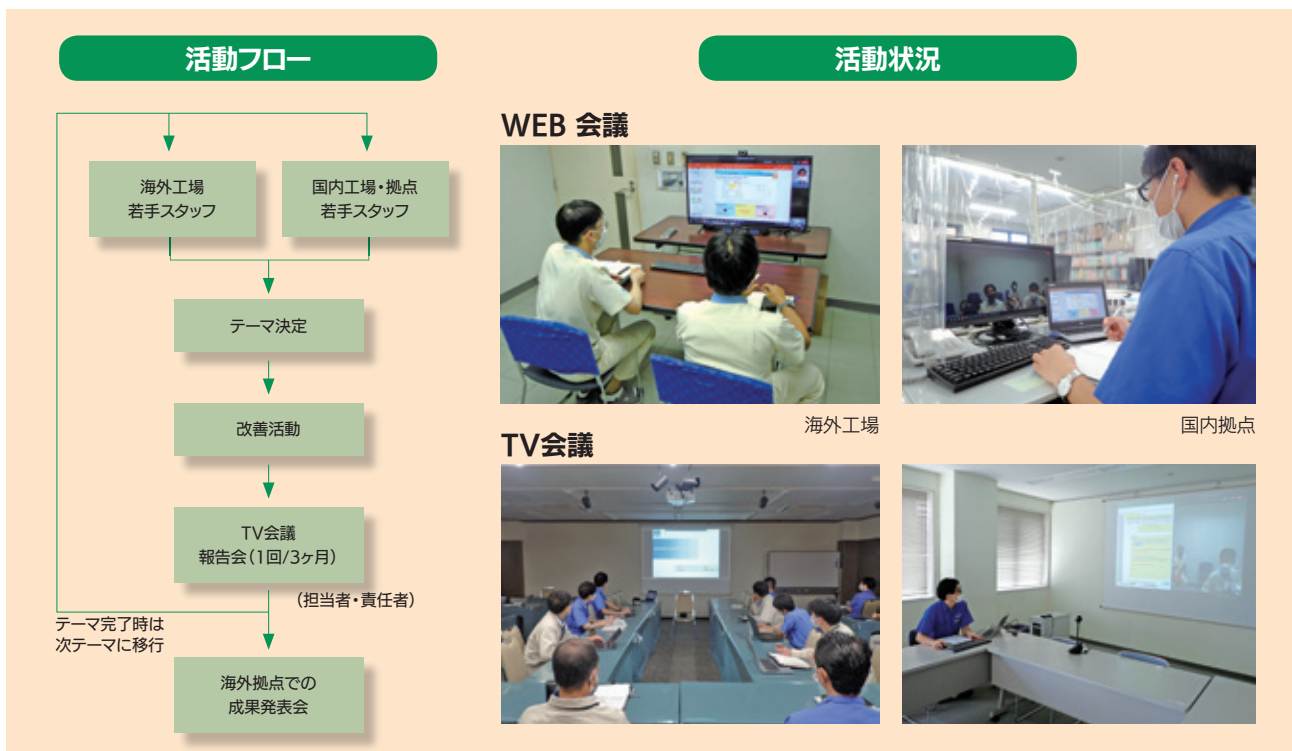
GLOBAL GEMBA KAIZEN ACTIVITY



国内外の各拠点の若手スタッフが中心となって、工場における生産性や歩留まりの向上、不良低減などの原価低減テーマを計画的に進めながら、人材の育成を図る取り組みを実施しています。

テーマの選定は、各拠点より1件以上とし、国内工場スタッフと海外工場スタッフが連携し、各テーマを解決していきます。先輩スタッフを交えた定期的な進捗報告会や、年1回の海外工場での活動成果発表会等を通して、改善活動のレベルアップを図っています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、海外工場での活動成果発表会は中止となりましたが、社内通信環境を更に充実させ、リモート会議等を活用して活発なコミュニケーションが図れた結果、活動テーマ件数は前年度比113%(2019年度 15件 → 2020年度 17件)で、原価低減効果を更に積み上げています。



3. 社会貢献活動

◆ 三ツ星ベルトふれあい協議会の活動

◆ ふれあいイベントの開催

三ツ星ベルトグループは「住民と企業が共生するまちづくり」を進め、グループ従業員で構成されるボランティア団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」を結成し、地域の皆様とのふれあいを大切にしながら、各地でイベントを開催してまいりました。2021年も昨年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの開催は困難な状況となりましたが、引き続き地域の皆さまとの交流を進めてまいります。

【神戸本社・事業所(神戸市長田区)】 たなばたまつり(7月)

地域に隣接する神戸市営地下鉄海岸線が2001年の7月7日に開通したことを祝って始まったたなばたまつり。綾部事業所がある京都府綾部市から笹の寄贈を受け、周辺道路は願い事が書かれた笹飾りで華やかに彩られます。会場内には地域住民や三ツ星ベルト従業員が思い思いに企画した数多くの屋台が軒を連ねます。



【東京本社(東京都中央区)】 ミュージックサロン(年2回不定期)

震災復興にあたって多くの方からサポートをいただいたお返しをしたいと、東京で入場無料のコンサートを開催しています。観客の音楽ファンのみならず、出演する若手の音楽家の皆さんには、一流のコンサートホールで演奏する機会として喜ばれています。



【四国工場(香川県さぬき市)】 さぬき手打ちうどんと地引網体験会(5月)

四国工場に隣接する海岸での地引網と、さぬきうどんの手打ち体験会を開催しています。神戸本社や綾部事業所からもバスを連ねて大勢参加し、普段できない貴重な体験が喜ばれています。



【綾部事業所(京都府綾部市)】 あゆのやな漁見学会(9月)

綾部市を流れる由良川で、期間を限って行われる伝統漁法“あゆのやな漁”を見学する会を開催しています。神戸本社や四国工場からもバスを連ねて参加し、川に仕掛けられた“やな”に打ち上げられて飛び跳ねるあゆを手づかみで捕まえようとする子どもたちの歓声が絶えません。



【“学校ビオトープ”の支援】

三ツ星ベルトふれあい協議会は、社員のボランティアで兵庫県下の教育施設に100ヶ所以上のビオトープ(生物生息空間の池)設置に協力しています。自然環境の保全是、事業継続の上で企業に求められる責任です。環境法令の順守にとどまらない、より積極的な取組みが求められます。同協議会ではビオトープづくりに必要な当社製遮水ゴムシートを提供するなど、行政と協力し生物多様性の保全に取り組んでいます。



◆ 子どもたちの未来を応援する活動

【日本ユニセフ協会への寄付金贈呈】

「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子どもたちへの支援活動を行っています。

阪神・淡路大震災で三ツ星ベルトの本社がある神戸市長田区は壊滅的な被害に見舞われました。歳月が流れるとともに災害に対する当時の記憶は薄れつつあります。しかし、世界中では依然として貧困などによって、年間520万人もの子どもたちが5歳未満でその尊い命を失っています。

三ツ星ベルトグループは「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、こうした子どもたちの役に立ちたいと、震災10年目の節目にあたる2005年から「世界の子どもたちに愛の手を」と題して、グループ従業員一人ひとりから寄せられた寄付金を主体に、公益財団法人日本ユニセフ協会に対する寄付金贈呈を毎年継続して実施しています。

※ユニセフ (UNICEF・・・国際連合児童基金)

We Support



当社は2005年から「世界のこどもたちに愛の手を」をスローガンに募金活動を実施し、毎年日本ユニセフ協会に寄付を行ってきました。この活動が評価され、紺綬褒状を受章しました。

◆ 社会貢献活動（海外関係会社）

海外関係会社でも「人を想い、地球を想う」という基本理念のもと、子供たちへの支援活動を行っています。子どもたちの未来を応援するこの活動は、国内各事業場にとどまることなく、海外拠点にも展開しています。また、地域社会との協業による環境保全活動も行っています。

タイでのCSR活動

タイのSTARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITEDは、子供たちへの支援活動を中心にさまざまな活動を行っています。

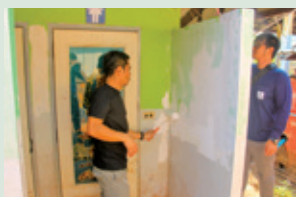
学校で開催されたこどもの日の活動に参加し、子供たちにゲームや食事を楽しんでもらいました。
2020年1月



小学校で子供たちにバッグと文具セットなどをプレゼントしました。
2020年7月



小学校の教室や校庭の改修活動
2020年2月



新型コロナウイルス感染拡大における医療活動支援
2020年8月



◆ 防災への取り組み

地域との協力による防災(総合防災訓練)

三ツ星ベルトでは、事業場ごとに毎月一斉防災訓練を行うなど、従業員の災害に対する意識向上を図っています。

阪神・淡路大震災が発生した1月17日を「三ツ星ベルト防災の日」とし、消防署の協力を得てスケールアップした総合防災訓練を毎年行っています。訓練は震度6強の地震が発生したことを想定しています。近隣の方々も参加し、避難訓練、負傷者救助訓練、炊き出し訓練を定例訓練として行っています。また、パケツリレー、土嚢積みによる浸水防止訓練、応急担架による負傷者搬送訓練なども行っています。



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、さまざまなイベントが中止された中で、2021年1月18日に従来の訓練内容を変更し、当社自衛消防隊による消火設備の使用方法和、少人数での放水訓練を実施しました。



◆ コロナ禍における2021年度の活動

地域の小学校との交流

神戸本社では、コロナ禍で昨年に引き続き近隣の神戸市立真野小学校 新1年生の入学をお祝いする会が開催できませんでしたが、地域の一住民として子どもたちの安全を見守るため、新1年生に災害発生時に頭部を保護する防災頭巾を、また子どもたちが安全に通学できるように横断旗を寄贈しました。引き続き、安全で安心な地域社会づくりの推進活動に協力いたします。



神戸市立真野小学校2年生10名が校外学習のため神戸本社に来社されました。製品、建物、社員などに対する多くの質問をいただき、当社への関心の高さをうかがい知ることができました。また当社製品を展示し、実際に手に取ってもらうことで、企業としての「ものづくり」について理解を深めてもらう良い機会になりました。



たなばたまつり

当社事業所のある綾部市から竹笹を提供いただき、神戸本社、名古屋工場、四国工場において、たなばたまつりの笹飾りを2021年7月6日～8日まで3日間設置しました。

新型コロナウイルスの影響により今回は笹飾りのみの実施となったものの、今年度は神戸本社に加えて名古屋工場、四国工場でも、同日程で笹飾りを行いました。例年とイベントの形式は異なりましたが、引き続き、地域交流を深めるため活動を進めてまいります。

【名古屋工場】

名古屋工場では初めてのたなばたまつりでしたが、たくさんの方々が素敵な飾りを作り、色々な短冊が飾られて、夢と希望が高まるイベントとなりました。



【四国工場】

笹飾りを工場の正門近くに設置し、従業員をはじめ、来場者の方々もマスクの着用を徹底いただきました。ソーシャルディスタンスを確保し、笹飾りの下で笑顔で言葉を交わしながら、地域の皆さまとの交流を深めることができました。



【神戸本社】

昨今の厳しい情勢の中、規模は縮小したものの、たくさんの願いを短冊に込めた笹飾りが行われました。「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、地域社会に根差した企業として、引き続き活動を進めてまいります。



竹笹を贈った神戸市立真野小学校の皆さんからのお礼状。

海岸清掃活動(四国工場)

四国工場では、毎年さぬき手打ちうどんと地引網体験会を開催し、地元の方々をはじめ、神戸や綾部からも多くの方々にお越しいただき、イベントを通じた地域同士の交流を進めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の猛威が収まらず、2021年度も昨年と同様、残念ながら同イベントを中止するという結果となりました。そこで四国工場では、三ツ星ベルトCSR基本方針である『地域社会との連携と強調』とSDGsの目標の一つである『住み続けられる街づくりを』の一環として、工場周辺の美化を図るため、グループ従業員を中心に工場北東(北松原海水浴場)の海岸清掃を2021年5月28日に実施しました。



清掃前の海岸は、雑草や枯草、ゴミが散乱していましたが
清掃活動によって海岸は元の姿を取り戻しました。



プロギングに参加(神戸事業所)

神戸市が主催している「ばい捨て禁止」「路上喫煙禁止」を掲げて活動しているステンスワンププロジェクトが須磨海岸で開催したスポーツイベント「ステンスワンプロギング」に、神戸海さくらの一員として当社社員が参加しました。「プロギング」とは、ごみ拾いとランニングを掛け合わせたスウェーデン発祥のスポーツです。この日は普段のごみ拾いとプロギング参加の二手に分かれて活動を行いました。きれいに見えた海岸も、プロギングと普段のごみ拾いを合わせるとかなりの量のごみになりました。今後も引き続きこのような社会貢献活動に参加していきます。



◆ SDGs社内啓発活動

SDGs社内ポスター発行

当社グループは地球環境に優しい製品づくりや、地域との共生活動を継続し、「'21中期経営計画」で示しているとおり事業活動を通じて社会に貢献できる企業を目指しています。「人を想い、地球を想う」の基本理念のもと、当社グループ従業員がSDGsの理解を深め、取り組みを活性化させるため3種類のポスターを発行し、SDGsの社内啓発を進めています。



SDGs社内啓発講座

当社グループがSDGs活動を推進していくためには、従業員一人ひとりが主体的に取り組んでいくことが重要だと考えています。この考えに基づき、各従業員がSDGsに関する取り組みの重要性を理解し、活動そのものを身近に感じてもらうことを目的として、SDGs啓発講座を繰り返し開催しました。世界が直面している社会的課題、ならびにSDGsの考え方や取り組み事例をできる限り分かりやすく説明し、国内外全拠点に向けて情報を発信しています。



4. 安全衛生への取り組み

◆ 労働安全衛生基本方針

三ツ星ベルトグループ全従業員の安全と健康確保、及びそれを管理するシステムの継続的な改善は、経営の最重要課題であり、全従業員が協力して安全衛生活動に取り組みます。

〔行動指針〕

全従業員がコミュニケーションを図り、全員参加で安全衛生活動を実行します。

- 安全衛生管理システムが常に有効に機能するように維持、改善を行います。
- 安全衛生関係法令および安全衛生管理規程を順守します。
- リスクアセスメントおよび安全衛生教育を通じて、労働災害の未然防止を図ります。
- 健康診断、メンタルヘルス対策、感染症対策等を実施し、全従業員の健康管理を推進します。
- 交通安全意識を高め、交通事故の撲滅を図ります。

2021年10月1日改定

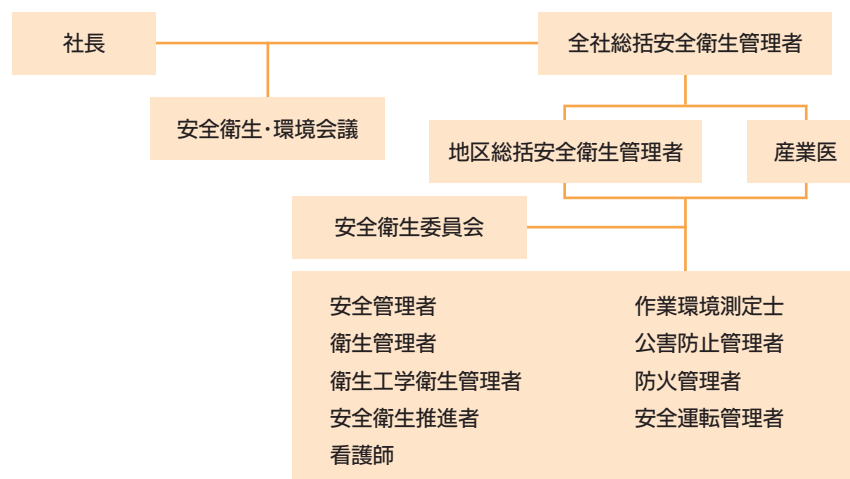
◆ 三ツ星ベルトのリスクと機会及び施策

リスク要因	リスクと機会	施策（取組み、活動）
顧客要求、法規制の強化	法令違反、顧客要求違反による企業価値低下 早期対応による企業価値向上	法規制順守（安全衛生組織の充実、内部監査、法規制教育）
感染症の感染拡大	事業活動の制限 早期対応による企業価値の向上、事業継続	感染症BCP策定
気候変動への対応	自然災害の多発、甚大化、事業活動の制限 早期対応による企業価値の向上、事業継続	気候変動BCP策定 緊急事態訓練の実施
従業員の高齢化	労働災害、交通事故の増加 早期対応による労働力の確保	リスクアセスメント、KY活動 従業員の健康増進
働き方改革への対応	対応遅れによる企業価値の低下 早期対応による企業価値向上、労働力確保	安全、快適な職場環境 ストレスチェック

◆ 安全衛生管理体制の構築

年2回、安全衛生・環境会議を開催し、安全衛生に関する課題に取り組んでいます。また各事業場では毎月安全衛生委員会を開催し、労使一体で安全衛生活動の改善に取り組んでいます。

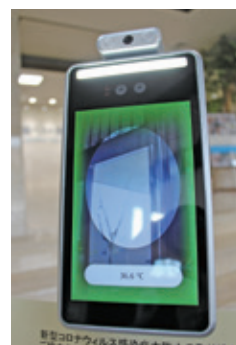
【全社総括組織】



◆ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症に対しては、「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、国内外の各拠点における感染状況、各拠点の稼働状況、従業員の勤務状況、学校や居住エリアの状況、取引先の状況など必要な情報を整理し、日々状況が変化の中、当社グループで情報を共有しながら感染症対策を進めています。

社員をはじめとするすべての入場者の方々に検温結果の確認、ならびに入門時の検温を実施し、新型コロナウイルス感染対策を講じています。神戸本社玄関ホールにも自動消毒液噴霧器と、非接触型の検温器を設置し、来社される皆さまに消毒と検温をお願いしています。今後お客様や従業員とその家族の安全を最優先し、事業継続を図ってまいります。



当社グループでは新型コロナウイルス感染症対策として、勤務体制の見直しや在宅勤務の導入を積極的に推進しています。新型コロナウイルス感染症の予防には人と人の接触を減らす事が重要ですが、社員の中には作業環境が在宅勤務に適していない場合もあるため、当社の福利厚生施設「和風荘」の会議室と宿泊室をリモートオフィスとして開放し、テレワークならびにWEB会議に適した環境を確保しながら感染対策に取り組んでいます。



リモートオフィスで業務を行う当社社員

5. 働き方改革と人材育成活動

◆ 働きやすい諸制度

従業員が多様な働き方を実現するため、様々な休暇制度や、柔軟な勤務時間制を選択できるようにしています。有給休暇は日単位、半日単位、時間単位から選択可能、また特別な休暇として、結婚休暇・出産休暇・メモリアル休暇・ふれあい休暇などがあります。ふれあい休暇は、当社が開催する地域ふれあいイベントにボランティア参加した従業員が、代わりの日に休暇を取得できる独自の制度です。また柔軟な勤務時間制として2021年より全社でフレックスタイム制勤務を導入しました。各従業員がより柔軟な働き方を選択することが可能となりました。従業員が育児や介護、個別の理由などでサポートが必要になった場合は、会社や従業員全体で支える環境が整っています。

2008年に「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受け、「くるみん」を取得しました。2019年度は「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」に認定されました。今後もさらに働きやすい環境の構築を進めてまいります。



2006年度より、お星さま制度及びお星さま休暇を創設し社会全体を支え貢献できる制度を導入しました。

1. お星さま制度

母子家庭または父子家庭、障がいのある子供をもつ従業員に支援金を毎月支給しています。2006年度より多くの従業員に支援金を支給してきました。

支援金を受けている従業員の実態を見ると、平日に行われる幼稚園、保育園等での行事参加や急な子供さんの病気のための通院等で休暇を取る必要性がありました。また介護の必要な身内のために休暇を取る従業員も見受けられました。そこで次のお星さま休暇制度も導入しました。

2. お星さま休暇

共働き世帯、母子家庭または父子家庭の学校行事への参加、障がいのある子供の通院や介護を必要とする親族のための休暇を取得できます。要件ごとに年間の休暇数に上限はありますが、休暇による賃金の減額はしておりません。



◆ 人材育成活動

2021年度は新型コロナウイルス感染症対策として実施できなかった研修もありますが、状況を鑑み随時再開していく予定です。

国内研修

国内では、新入社員から管理職までの階層別研修、自主保全士育成、自己啓発を目的とした全社員対象の通信教育などに加え、育児休業から復職する社員向けの復職サポート「お星さま研修」を行っています。また職場におけるハラスメント防止のため、管理職向けにハラスメント研修を実施いたしました。



「お星さま研修」風景です。研修を通して、育児休業からの復職者をメンタル面からもサポートします。



新入社員に木工作業（椅子作り）を通して、安全教育を実施しています。



ハラスメントに関する、知識の習得を目的としています。

徳星塾

教養を高め、人格形成と品位の向上を図る事を基本とし、世界に通用する幹部社員の養成を目的とした教育・研修を行っています。



社外から講師をお招きし、定期的で開催しています。

海外派遣研修

日本を外から見ることで、世界の中の日本を理解できる人材育成の一環として、2000年より海外派遣研修を行っています。毎年数名ずつ、アメリカ・ドイツ・中国などの大学に1年間留学し、当地の言葉や文化を学ぶだけでなく、多様性、人格、個性を尊重する人材育成活動として行っています。また社員の更なるスキルアップとして、2020年度からは、オンラインでの語学研修を新たにスタートしました。



クラスメイトと記念撮影。語学だけでなく、異文化への理解が深まります。



海外社員の育成

海外関係会社の現地従業員を日本に受け入れ、現地で担当している業務を更に深く習得する研修を行っています。OJTによる生産技術、品質管理の学習や、最新設備のメンテナンス技術を習得した現地従業員が帰国し、自国の職場に展開することで全体のレベルアップに貢献しています。



経験の豊富な日本人の社員からOJTによるメンテナンス技術を習得しています。



研修修了書を授与されて記念撮影。
(タイとインドネシアからの研修生)

6. コーポレート・ガバナンス

◆ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主の信頼を確保し、企業の社会的責任を果たすためには、コーポレート・ガバナンスの充実が経営上の最重要課題のひとつであると考えています。この考えの下、事業環境や市場の変化に迅速かつ柔軟に対応して業績向上に努めていくとともに、経営の効率性・透明性を維持・向上させるため、次の基本方針に基づき、経営に対する監督機能や内部統制体制の強化等に取り組み、コーポレート・ガバナンスの充実を図っています。

[基本方針]

- (1)株主の権利を尊重し、株主の平等性を確保することに努める。
- (2)ステークホルダー(株主・顧客・従業員・地域社会等)の権利や立場を尊重し、適切に協働することに努める。
- (3)会社情報を適時・適切に開示し、透明性・公正性を確保することに努める。
- (4)株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえて、取締役会等の役割・責務を適切に果たすことに努める。
- (5)株主との間で建設的な対話を行うことに努める。

◆ コーポレート・ガバナンス体制の概要

当社は、社外取締役2名を含む取締役8名から構成される取締役会、社外監査役2名を含む監査役4名から構成される監査役会を置く監査役会設置会社です。

取締役会において、重要事項に関する意思決定等を行い、取締役の業務執行に対する監督を行っており、重要事項に関しては、取締役会の開催前に十分な事前協議を行うために、経営会議を開催しています。なお、任意の仕組みとして、経営陣の選任・解任・報酬等に関する取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化することを目的とした人事・報酬諮問委員会(委員3名以上で構成し、その過半数を独立社外取締役とする任意の諮問委員会)を設置しています。また、当社は執行役員制度を導入しており、経営上の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離することで、業務執行体制の強化を図り、経営の効率性を追求しています。

7. 内部統制体制

◆ リスクマネジメント

当社は、社長が指名する担当役員を委員長とする「リスク管理委員会」を設置し、同委員会を中心として、リスク管理活動を推進しています。同委員会では、毎年、当社の事業活動に重大な影響を与える「重大リスク」とその対応責任部署を定め、対応方針と対策を決定して「重大リスク」への対応活動を推進するとともにその進捗状況と有効性を審議(年2回)することによって、リスク管理活動の継続的な改善を図っています。さらに、委員会の都度、取締役会に報告し、取締役会の指示事項をリスク管理活動に反映させています。

◆ コンプライアンス

当社は以下の体制により、当社グループにおけるコンプライアンスに関する問題の発生防止並びに早期発見・自主的解決を図るようにしています。

- 法令・定款を遵守した行動をとることを示す指針として「三ツ星ベルトグループ行動基準」を制定し、当社グループの役員及び従業員に対してその周知徹底を図っています。
- 社長が指名する担当役員を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、同委員会を中心として、コンプライアンス活動を推進しています。同委員会では、毎年、当社の事業活動に重大な影響を与える「重大コンプライアンスリスク」とその対応責任部署を定め、対応方針と対策を決定して「重大コンプライアンスリスク」への対応活動を推進するとともにその進捗状況と有効性を審議(年2回)することによって、コンプライアンス活動の継続的な改善を図っています。さらに、委員会の都度、取締役会に報告し、取締役会の指示事項をコンプライアンス活動に反映させています。
- さらに国内については、法令・定款違反またはそのおそれ等に関する情報提供を受け付ける内部通報窓口を社外の弁護士事務所に設置するとともに、情報提供者に対して不利益な取扱いをしてはならない旨の規程を定め、周知徹底を図っています。

8. 企業プロフィール

◆ 会社概要

商号：三ツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.

創業：1919年(大正8年)10月10日

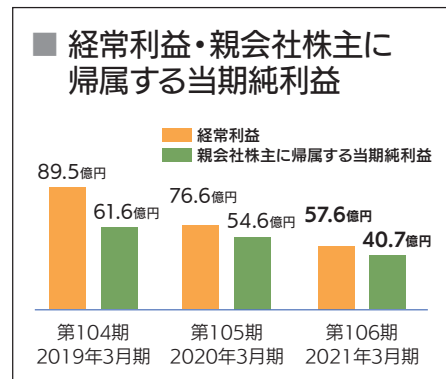
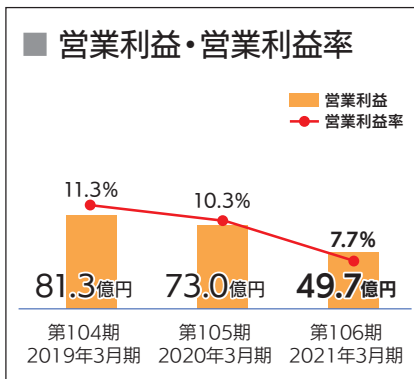
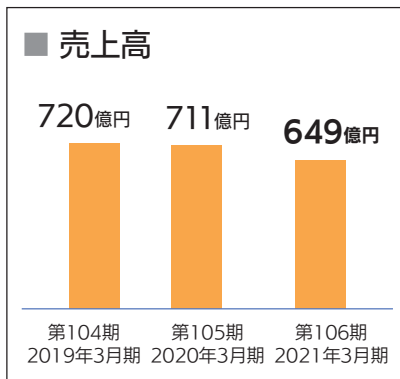
資本金：81億5,025万1,031円

従業員数：4,271人(単体729人)
(2021年3月31日現在)

◆ 営業品目

- 伝動ベルトおよび関連機器
- 搬送ベルトおよびシステム・関連製品
- エンジニアリングプラスチック
- 発泡射出成形品(エンジニアリングストラクチャルフォーム)
- 防水・遮水材
- 金属ナノ粒子関連製品

◆ 財務ハイライト(連結)



国内ベルト事業

売上高 247億77百万円

営業利益 47億62百万円

日本国内でのベルト^(※)の製造・販売事業です。
(※) 伝動・搬送ベルト、金属製品、樹脂製品



国内ベルト製造の主力工場
綾部事業所・三ツ星ベルト技研(株)

海外ベルト事業

売上高 296億11百万円

営業利益 27億35百万円

海外でのベルトの製造・販売事業です。



海外ベルト製造の中心的な役割を果たす
STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED(タイ)

建設資材事業

売上高 57億47百万円

営業利益 2億91百万円

建築用防水材・土木用遮水材の製造・販売事業です。



建設資材を製造している名古屋工場

その他

売上高 47億26百万円

営業利益 1億23百万円

エンジニアリングストラクチャルフォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品の製造・販売、ならびに仕入商品等の販売事業です。



研究開発体制を強化・推進させる神戸事業所



三ツ星ベルト株式会社



この印刷物は環境に優しい大豆油インキを使用しています。



●シルバー
この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>



Q15200152110UR01929B55